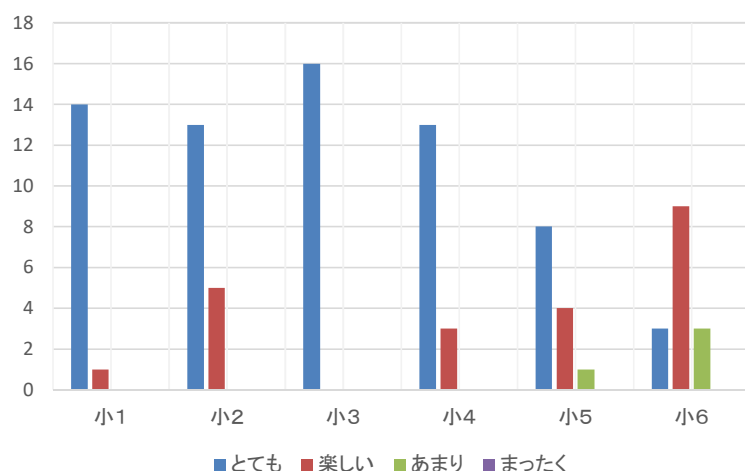


令和6年度外国語実施状況調査結果(1年生～6年生全員調査)

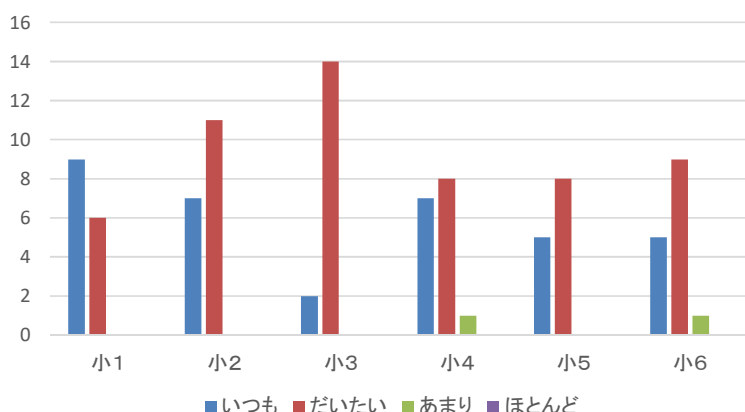
外国語の授業は楽しいですか



全体的に、外国語を「とても楽しい」「楽しい」と答えた児童が多く、全体的に概ね良好な結果であった。3年生においては、全員が楽しいと答えている。

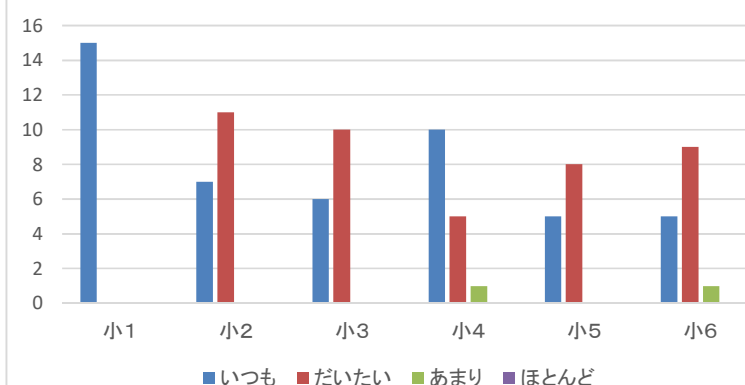
学年が上がるにつれて評価が低くなっており、5年生と6年生に一人ずつ「あまり」「まったく」と答えた児童もいた。低学年のときの意欲が継続できるよう今後も楽しい授業を展開していきたい。

相手にわかりやすいはっきりした声で話していますか(クリアボイス)



全体的に見ると、「いつも」「だいたい」と答えた児童が多く、概ね良好な結果であった。わかりやすい、はっきりした声については、全ての教科に繋がる大切な要素である。いつも「クリアボイス」を意識して授業に臨めるようにしていきたい。

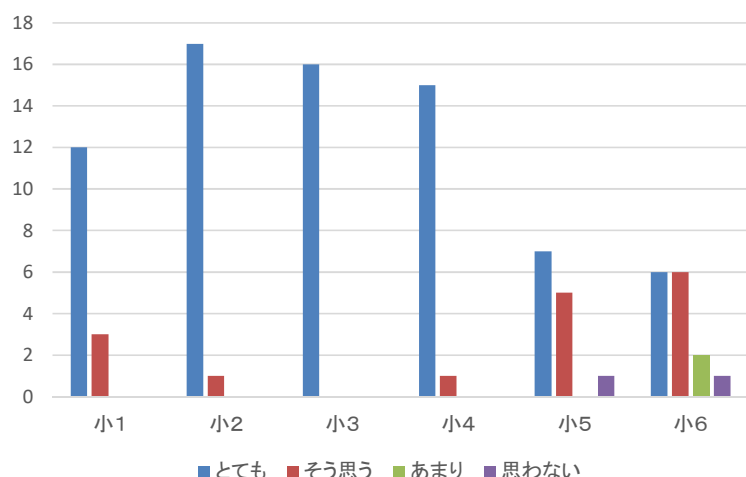
相手の目を見て話していますか(アイコンタクト)



全体的に見ると、「いつも」「だいたい」と答えた児童が多く、概ね良好な結果であった。相手の目を見て話すことは、自分の考えや思いを伝えるための大切な要素である。

1, 4年生以外は、恥ずかしさからか、「あまり」と答える児童が多い。外国語の授業だけでなく、日常生活やその他の授業においても意識させたい。

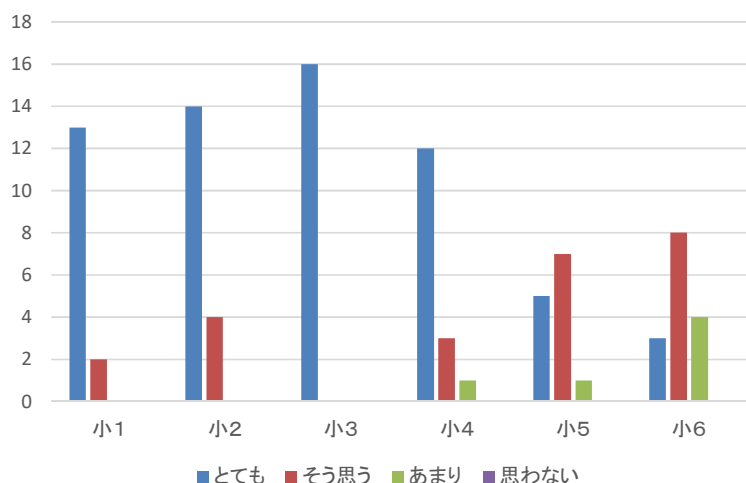
英語をもっと話せるようになりたいですか



全体的に、英語を「とても話せるようになりたい」と答える児童が多い。4年生以下に比べ、高学年では向上意欲が下がってきていると思われる。

今後も自分の英語が伝わる喜びを経験させ、英語への関心を持続させたい。

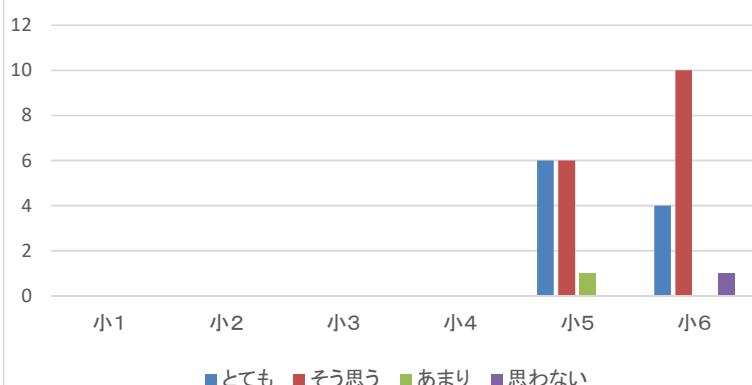
外国語の授業は好きですか



全体的に、外国語を「とても好き」「好き」と答える児童が多く概ね良好な結果であった。3年生においては、全員が楽しいと答えている。

6年生に、「好きではない」と答えた児童が4人いた。スモールステップでできることを増やし、意欲的に授業に参加できるよう支援していきたい。

外国語の授業はわかりますか (5, 6年のみ回答)



5, 6年ともに「とてもわかる」「わかる」と答える児童が多く、概ね良好な結果であった。

しかし、5年生と6年生に一人ずつ「あまり」「思わない」と答えた児童がいた。

児童の様子をしっかりと見取り、できたことを褒めながら自信を持たせたい。

【全体考察】本年度も良好な結果がうかがえた。英語専科とALT、担任による、「わかる」「できる」「伝わる」楽しく充実した授業が展開されてきた結果である。しかし、昨年度と比べると、苦手意識をもつ児童が若干増え、学ぶ意欲が下がってきていると思われる。今後も丁寧に見取りながら適切な評価をし、児童が意欲的に生き生きと活動できる授業を展開していきたい。

外国語活動に関する外部評価

(学校運営協議会)

- 低学年のコミュニケーションや動きなど、とても楽しそうに活動していることを、家庭の中でも話すことが増えてきた。
- 1年生から英語活動を始めことは、英語に親しむという点からもとても有意義なことだと感じている。
- 保育園・幼稚園でも外国語活動の体験を行っているところが多いので、幼保小のつなぎという意味からも、1年生の時から活動することはとてもよい意義深いと思う。
- ALTや専科の先生方と、英語を通じた交流を行うことで、英語に触れる機会が増え、外国の方との交流も、積極的に行うことができるようになってきたように感じる。